

三菱 ギャラン 2.0DOHC ターボ VR-4

日本 / 1989



1987年にギャランは新世代となる。4ドアセダンのみとなったことで、ドア数を意味する「VR-4」といったサブネームがなくなり、ボディデザインもすっきりと引き締まったものとなった。スポーティーさを全面に打ち出したコンセプトで、その頂点に立つのが「VR-4」と呼ばれるモデルである。この世代のギャランから三菱はWRC（世界ラリー・チャンピオンシップ）に本格参戦した。横置きにされた4気筒の1.6、1.8、2.0リットルで前輪を駆動する2駆と、4WD（4輪駆動）のシリーズにはターボとノンターボの2.0リットルDOHCだけが用意されている。一部のモデルには4WSの設定がされていた。

ギャラン 2.0DOHC ターボ VR-4

エンジン

搭載位置	フロント横置
種類	ガソリン 4サイクル
冷却方式	水冷
シリンダー配置	直列
気筒数	4
バルブ形式	DOHC
排気量(cc)	1997
最高出力(PS/rpm)	220/6000 (net)
最大トルク(mKg/rpm)	30.9/3500
燃料容量(Ltr.)	62

駆動方式

駆動方式	パートタイム 4WD
変速機	5速MT フロア

シャシー

サスペンション 前	独立 マクファーソン ストラット コイル
サスペンション 後	独立 ウィッシュ ボーン コイル
ブレーキ 前	ディスク サーボ
ブレーキ 後	ディスク サーボ
タイヤ	195/60R15

ボディー

構造	モノコック
ドア数	4
全長(mm)	4560
全幅(mm)	1695
全高(mm)	1440
車輻重量(kg)	1380
乗車定員(名)	5

性能

最高速度(km/h)